

高梁・新見地域認知症疾患医療センター地域連携会議（高梁部会）議事録

日時：令和5年5月29日（月）

18：00～19：15

場所：高梁市役所2階保健センター

出席者（14名）

高梁医師会2名、岡山県介護支援専門員協会高梁支部1名、高梁市健康福祉部地域包括支援センター2名、岡山県備北保健所1名、岡山県備中県民局健康福祉部1名、岡山県健康福祉課長寿社会班1名、さきがけホスピタル6名

1. 開会 部会長 まつうらクリニック 松浦先生より挨拶

2. 意見交換

(1) 高梁・新見地域認知症疾患医療センター地域連携会議の位置付け・役割について
さきがけホスピタル精神保健福祉士 妹尾より

(2) 岡山県認知症疾患医療センター実績報告
さきがけホスピタル 兒玉センター長より

(3) 認知症初期集中支援チームについて
高梁市健康福祉部地域包括支援センター 内岡所長より

- 認知症サポート医の役割分担について検討した
- 初期集中支援チームの事業に厳密には相当しないケースについて、認知症サポート医を交え事例検討の会を年数回実施することになった

(4) 高梁部会研修会について
○令和4年度研修会報告

○令和5年度の研修会について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴いオンライン形式での研修会が主流となっていたが、令和5年5月8日より新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」となったことを受け、事務局からは対面形式での研修会を行いたい意向を示した。昨年度に行った研修会も踏まえ、意見を募り、下記のような提案がなされた。

- チームオレンジ、オレンジサポーターの方々が専門職の人と話が出来たら違う知見が得られ、行政の施策ともマッチするのではないか。
- （高梁地域に）チームオレンジがふたつ出来た。新たに設置する動きもある。実際に関わっている人の話を聞くことは力になるので何か一緒に出来たらと思う。また、サポーターを養成して終わるのではなく、その先のフォローアップも出来たら望ましい。
- 昨年度行った研修会の中で、支援者の観点と当事者の視点の違いに感銘を受けた。どうやったらいろいろな人が関心を持って参加してくれるのか…。
- 「気付き」が大事だと思う。地域の目となる愛育委員や民生委員を巻き込んだ活動や研修が出来たら。

今年度の研修会は下記のように行っていくこととなった。

新たに何か作るよりは、市や介護支援専門員協会にも協力を仰ぎながら、既存の会や集まりを活用しながら一緒に行っていく。その中の1つとして、地区を絞ってチームオレンジやサポーター養成講座を絡めながら、市と共同での開催を検討する。

(5) その他協議事項について
無し

3. 閉会 高梁市健康福祉部地域包括支援センター 内岡所長より挨拶